

六甲高山植物園 一面に広がる黄色の花畠 約2,000株のニッコウキスゲが見頃です！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治 阪神電気鉄道株式会社100%出資)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、「ニッコウキスゲ」が見頃を迎えました。

高原にさわやかな夏を呼ぶ花として知られるニッコウキスゲ。関西地域以西には自生地がないため、一面に広がる様子は非常に貴重で、毎年、多くのお客様が本種を目的にご来園されます。6月には亞高山帯型が開花しておりましたが、7月に入り、高原型の約2,000株の群落が見頃となりました。黄色い絨毯のように広がる鮮やかな景色は、インスタグラムをはじめとするSNSにもよく映えます。



◆ニッコウキスゲ(ススキノキ科)

北海道、本州(中部以北)の亞高山帯の湿り気がある草原に生える多年草です。尾瀬や霧ヶ峰の群落が有名で、高さは40~70cmになります。花は一日花で、朝開いて夕方には閉じてしまいますが、一本の茎にたくさんの蕾をつけ、それが次から次へと咲くために、全体としては長い期間楽しむ事ができます。当園に咲くニッコウキスゲは、現在見頃を迎え、7月下旬頃までお楽しみいただける見込みです。



◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137
住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】3月16日(土)~11月24日(日) 【休園日】9月5日(木)、12日(木)

【開園時間】10:00~17:00 (16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)620円/小人(4歳~小学生)310円